

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	九州旅客鉄道株式会社
所在地	福岡市博多区博多駅前 3-25-21
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	運輸業、郵便業
電話番号	092-474-0747
ホームページ	—

Well-being 向上 に向けた取組み	・当社は、全ての従業員が健康で働きやすく、安全な職場環境の整備に努め、働きがいの持てる職場づくりを進めています。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 九州旅客鉄道株式会社

カテゴリー	チェック項目	3側面該当		具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																	
		環境	社会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	・当社は社員が自分の仕事に誇りを持ち、誰もがいきいきと活躍できる会社を目指し、『明るく楽しい会社づくりプロジェクト』を展開しています。社員のやりがいの創出や人間力・実務力の向上による既存事業の成長と新しい事業の創出により、社員と会社が共に成長していきます。						○			○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	・ワークライフバランスの向上などを目的に、一部職場でテレワーク・フレックスタイム制を適用しています。 ・仕事と子育てを両立させることができる環境づくりにも積極的に取り組んでおり、2021年度に厚生労働省より「プラチナくるみん」認定を受けています。						○			○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	・「JR九州グループ人権基本方針」に基づき、全役員・従業員の人権意識を高めるための教育および啓発を定期的に行っています。 ・救済窓口については、窓口の独立性・透明性・公平性を担保するため、社内から社外の専門会社へ移管しました。						○			○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	・ワークライフバランスを更に推進するために、時間外労働限度時間を定め労働時間管理を実施しています。 ・社員の健康管理を、経営的な視点で考え戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められ「健康経営優良法人2025」の認定を受けています。				○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	・階層別研修やグロービス経営大学院、社外派遣研修等、それぞれの成長ステージに合わせて様々な学びの場を提供しています。 ・「当社社員として一緒に働きたい」と感じていただくことを目的にインターンシップの受入れを実施するほか、「子どもお仕事参観デー」などで小中学生に職業の学びの場を提供しています。									○	○	○	○						
	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	・PRTR法などに基づき、適切な管理を行っています。 ・各種事業の特色に基づき、使用量の削減やリサイクルなどを推進している。				○		○						○	○		○			
環境	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	・蓄電池電車やディーゼルハイブリッド車両のほか、エネルギー効率の良い省エネ型車両を導入しています。 ・オンサイトPPAなど、様々な手法を用いて再生エネを調達しています。								○				○	○					
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	・「ななつ星 in 九州」で生分解性の素材を使用したストローを使用しています。 ・「36ぶらす3」で提供するお弁当の容器に早生樹を原料とした容器を使用することでプラスチックごみの削減に寄与しています。									○						○	○	○	
環境	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○		・車両基地での排水を処理し、中水として再利用を行っています。 ・「Blossom HAKATA Premier」では再生水の利用、節水コマに加えて省水型機器の用いて水資源の節約を実施しています。								○										
	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	・気付きやヒヤリハット体験を集約し社内会議で速やかに内容と対策を報告し、全従業員に開示しています。 ・日々お客さまの声の収集に努め、これを速やかに社内会議に報告し審議を経た上で、お客さまへ回答のうえ社内でも共有し、具体的な改善につなげています。				○													○	
製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	・新たなモビリティサービス(MaaS)の分野において、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取り組みを推進しています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○		・個人情報などの保護に関する方針を策定しています。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底しています。																	○	
公正な事業慣行・組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○		・当社では「JR九州グループ倫理行動憲章」を制定し、企業倫理の確立と法令遵守の徹底を図っています。 ・当社において企業倫理を確立し、法令遵守を徹底するための審議機関として、社長を委員長とする「JR九州グループ企業倫理委員会」を設置しています。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○		・当社は、2025年に新たな経営理念を策定、「九州の元気を、世界へ」をわたしたちの夢と定義しました。経営理念は経営陣を通して管理職および一般社員に直接伝達されるとともに、社内報やeラーニング等を通して共有しています。										○	○						○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	・着実な安全投資を行い、ハード及びソフト両面の防災及び減災対策の強化に努めています。										○		○					○	